

## 地方創生推進交付金等活用事業の実績について

1	世界に一番近い「SATOYAMA」プロジェクト (地域資源を活かした観光振興)	2
2	ICT活用による産地再生と高品質農産物生産プロジェクト (次世代農業の推進)	7
3	市原市の暮らしを彩る地域産業再生・人材育成プロジェクト (産業支援センターによる中小企業支援と起業・創業支援)	10

平成30年8月

市原市企画部総合計画推進課  
地方創生推進室

# 1 世界に一番近い「SATOYAMA」プロジェクト (地域資源を活かした観光振興)

## (1) 計画概要

東京圏外周に広がる里山や周辺地域一帯を「文化創造圏」として、人が創り上げた自然である里山と、そこで培われた歴史・文化・民俗・芸術の交流、地域を縦断する小湊鐵道、さらにはそれらの体験を主要なコンテンツとして展開する観光地づくりを君津市など近隣自治体との広域連携により進めます。

将来的にはDMOを創設し、観光産業全体の推進体制を構築します。

羽田・成田の両空港の中間に位置する好立地を活かして、世界に一番近い「SATOYAMA」ブランドを創出し、2020年を見据えた、国内主要都市やインバウンドをターゲットとする広域観光産業づくりを目指します。

## (2) 実施状況

- ◆ 地域団体等が取り組んでいる小湊鐵道沿線の景観美化への支援等を行い、里山を中心とした観光地づくりを進めました。
- ◆ 君津市・大多喜町との広域連携事業として、新たな観光ルートの開拓に向け、養老溪谷駅・温泉郷・亀山ダムとJR久留里駅を路線バス「房総さとやまGO」で結ぶ実証運行を行いました。
- ◆ 観光プロモーションとして、市原市・君津市・大多喜町の広域連携による魅力発信を行いました。
- ◆ DMO設立に向けた、市原市観光協会の体制強化の支援を行いました。
- ◆ しごとづくりの推進として、農家レストランによる料理メニューや事業者による商品開発への支援、流通経路の検証を行いました。
- ◆ 地域おこし協力隊は、地域資源である菜の花を活用した菜種油を商品化するため、試作品の制作や試作品を利用した試験販売などを実施しました。
- ◆ いちはら歴史のミュージアム整備事業は、基本計画の策定と拠点施設の基本設計を行いました。また、インターネット博物館の前身となる収蔵資料管理システムを運用し、資料情報について、ウェブサイト上で発信しました。

### (3) 成果検証

#### ① KPI（重要業績評価指標）

ア 小湊鉄道観光利用乗車人数（1日フリー乗車券・房総横断鉄道乗車券・観光列車乗車券）（千人）

年度	2014 基準値	2015	2016	2017	2018	2019	2020	累計
実数	31	41	75	74				
目標値			3	3	3	3	7	19
実績値		10	34	▲1				33
評価		—	◎	△*				

目標値及び実績値は各年度における対前年度増減数を示しています（以下同じ）。

◎＝目標値以上、○＝目標値の概ね8割以上、△＝その他

※対前年度では△ですが、実数ベースでは目標値を達成しています。

イ 観光入込客数（千人）※上段：総数 中段：市原市 下段：君津市

年	2015 基準値	2016	2017	2018	2019	2020	累計
実数	6,469	6,554	6,521				
	3,523	3,505	3,561				
	2,946	3,049	2,960				
目標値		129	133	139	144	199	744
		10	10	10	10	60	100
		119	123	129	134	139	644
実績値		86	▲33				52
		▲17	56				38
		103	▲89				14
評価		△	△				
		△	◎				
		○	△				

ウ 地域団体による新規事業化数（件）

年度	2015 基準値	2016	2017	2018	2019	2020	累計
目標値		0	1	2	2	1	6
実績値 (累計)	0	0 (0)	1 (1)				1
評価		—	◎				

② 検証

- ◆ 小湊鉄道観光利用乗車人数については、2016（平成 28）年度と比較して 1,000 人減となったものの、2016 年度に目標値の 10 倍を超える実績があったこと、実数ベースでは 2016 年度と同規模となる年間 7 万 4 千人を維持していることから、里山トロッコ列車の運行や沿線の菜の花など、観光コンテンツとしての魅力が定着しつつあるものと考えられます。
- ◆ 観光入込客数は、本市は 56,000 人増、君津市は 89,000 人減となり、合計 33,000 人減で KPI を下回る結果となりました。  
本市では、観光レクリエーション施設が前年度と比較して約 10,000 人の増、行祭事・イベントが約 46,000 人の増となり、ゴルフ場利用者数の増加やいちほらアート×ミックス等による効果が伺えます。  
君津市は濃溝の滝のブームが落ち着き、近隣の道の駅の入込客数が大きく減少したことが影響しているものと思われまます。
- ◆ 地域団体の活動や里山トロッコ列車の運行など、市南部地域の観光地づくりは着実に進んでおり、引き続きこうした取組を支援していくことが必要です。
- ◆ あわせて、DMO の設立や官民連携等を進め、相乗効果の発現につなげていくことが必要です。
- ◆ 地域団体による新規事業化については、地域おこし協力隊の活動により、平成 29（2017）年度の目標値を達成しました。こうした活動を地域活性化につなげていくため、地域おこし協力隊の強化を進める必要があります。

(4) 今後の方向性

- ◆ 今後は、更なる交流人口の増加に向けて、これまでの取組を継続・強化しつ

- つ、観光地としての魅力向上やプロモーションの強化に取り組みます。
- ◆ 里山を活用した体験型観光プランを作成し、観光客の誘客を図ります。
  - ◆ 里山団体の活動内容の周知を図り、新たな担い手の確保につなげ、団体の活動を支援します。
  - ◆ 市民の郷土への誇りと愛着を育み、歴史遺産を支える人材の育成や新たな交流の創出につなげるネットワークの拠点として、ミュージアムの整備を進めます。
  - ◆ 地域おこし協力隊については、既に事業化している菜種油の展開支援のほか、新たな事業化に向けた取組への支援を行います。また、2 人目の協力隊を指名し、おもてなしの強化や地元産品を生かした需要創出等に取り組みます。
  - ◆ 引き続き周辺自治体との広域連携による事業展開に取り組み、周辺地域一体の地域振興・経済振興につなげていきます。

## (5) 事業一覧

推進交付金活用事業（千円）

	事業名 (担当課)	事業概要・実績	交付金対象 事業費 (うち交付金)
1	観光地おもてなし 事業（景観整備支 援） (観光振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 29 年 6 月 小湊鉄道月崎・上総大久保駅間の沿線エリアの景観整備を実施</li> <li>・ 同年 11 月 イルミネーション補助</li> <li>・ 平成 30 年 3 月 小湊鉄道月崎・上総大久保駅間の沿線エリアの花木植栽を実施</li> </ul>	1,500 (750)
2	いちほら歴史のミ ュージアム整備事 業 (ふるさと文化 課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査活動や市民との交流、文化財活用に向けた取組に着手</li> <li>・ 基本計画（最終案）を策定し、拠点施設の建築・展示基本設計業務を完了</li> </ul>	27,490 (13,745)
3	地域資源を活かし た観光振興事業 (観光振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行楽シーズンに合わせ、9 月 23 日から 12 月 10 日までの土日祝日、計 27 日間、バスの実証運行を実施</li> <li>・ 利用者数 788 人(5.9 人／便)</li> </ul>	1,938 (969)

	事業名 (担当課)	事業概要・実績	交付金対象 事業費 (うち交付金)
4	市原市観光協会補助事業 (観光振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市原型の DMO の構築に向けた公益事業を実施</li> </ul>	12,712 (6,356)
5	いちほら魅力発信事業 (広報広聴課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信力の強化のため、有識者による懇話会の開催やプロモーション研修を実施</li> <li>プロモーション冊子を作成、配布</li> </ul>	1,788 (894)
6	農家レストラン支援事業 (農林業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>養老溪谷の紅葉シーズンに合わせた秋の営業、小湊鉄道沿線の菜の花・桜シーズンに合わせた春の営業を行い、新メニュー1種類を開発</li> <li>生産者等に向けた農家レストランセミナーを開催</li> </ul>	890 (445)
7	ふるさと名物応援事業 (商工業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3事業者の商品開発事業を採択</li> <li>事業者1は商品が完成、販売を開始</li> <li>事業者2及び事業者3は商品開発に向け試作品の段階まで進んでいたが、完成には至らず</li> </ul>	709 (355)
8	流通モデル調査研究事業 (商工業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅土産コーナーの運営、詰め合わせギフト商品化、国府ブランド商品認定及び広報活動、イベント出店にて市内商品 PR を実施</li> </ul>	3,004 (1,502)
9	いちほら版地域おこし協力隊事業 (総合計画推進課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源である菜の花を利用した菜種油の試作品制作や試験販売などを実施</li> <li>市は協力隊活動の円滑化へのサポートを実施</li> </ul>	2,658 (1,329)
10	いちほら市民大学推進事業 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市原市の観光振興に主体的に携わる市民の育成を目指し、観光振興コースを実施</li> <li>年間11回講座を実施し、29名が受講</li> </ul>	132 (66)

## 2 ICT 活用による産地再生と高品質農産物生産プロジェクト (次世代農業の推進)

### (1) 計画概要

市原の農業のブランド力向上や担い手の確保、雇用機会の創出等による人口減少の抑制に向けて、次世代の農業を見据えた意欲的な取組の支援や、有害獣による農作物被害の防止に向けた地域住民との協働による捕獲体制の強化、老朽化が進む梨園を効率的に改植するための栽培方法の実証実験などを行います。

### (2) 実施状況

- ◆ 40年以上に渡り耕作放棄されている大規模農地において、土壌改良を行いながら養蜂業を実施し、6次産業化等による収益性の高い農業と農地再生の両立に向けた、条件不利地における新たな営農モデルの構築に取り組みました。
- ◆ 農作物被害の防止に向けて、有害獣の生態に詳しい専門家の活用や、野外カメラを使用した生態調査の実施など、長期的視点に立った科学的対策に取り組みました。
- ◆ 梨の早期成園化・作業の省力化に向けた新たな栽培方法の実証試験を開始するとともに、初心者向け栽培マニュアルの作成、栽培講習会の実施、加工講習会の実施により、栽培技術向上と生産物の付加価値向上に取り組みました。

### (3) 成果検証

#### ① KPI (重要業績評価指標)

ア 次世代農業活用による雇用者の増加数 (人)

年度	2015 基準値	2016	2017	2018	累計
目標値		19	10	8	37
実績値 (累計)	0	18 (18)	8 (26)		26
評価		○	○		

目標値及び実績値は各年度における対前年度増減数を示しています (以下同じ)。

◎=目標値以上、○=目標値の概ね8割以上、△=その他

イ 有害獣捕獲に取り組む町会の増加数（町会）

年度	2015 基準値	2016	2017	2018	累計
目標値		5	5	10	20
実績値 (累計)	0 (90)	6 (96)	4 (100)		10 (100)
評価		◎	○		

ウ 新しい梨の栽培方法を導入する農家の戸数（戸）

年度	2015 基準値	2016	2017	2018	累計
目標値		0	0	5	5
実績値 (累計)	0	0 (0)	1 (1)		1
評価		—	◎		

② 検証

- ◆ 次世代農業活用による雇用者数については、目標値に対し2名減となったものの、農地管理の省力化やハウス内作業マニュアルの徹底により、作業の効率化が図られたことから、概ね目標値に近い結果が得られました。
- ◆ 有害獣捕獲に取り組む町会の増加数については、順調に推移しており、引き続き取組を強化していきます。
- ◆ 新しい梨の栽培方法を導入する農家の戸数については、試験圃場での実証試験の開始とともに、生産者・関係団体との検討会や、先進地への視察等を行った結果、1戸の農家で新栽培法が導入されました。

(4) 今後の方向性

- ◆ 引き続き養蜂業の展開による耕作放棄地の活用を進め、加工品の量産化に向けた取組や農業体験イベントの実施、GAP（Good Agricultural Practice：農業



生産工程管理) 水準を維持できるようなマネジメント教育の実施などを通して、養蜂業を軸とした地域再生モデルの構築を目指します。

- ◆ 有害獣対策事業では、引き続き専門家による鳥獣被害対策実施隊員の研修や生息状況等の調査分析を行い、地域特性に応じた被害対策を強化し、被害の抑制に取り組みます。
- ◆ 「いちほら梨」産地再生事業では、栽培マニュアルを活用した技術研修を継続するとともに、新栽培法の実証試験結果を公開し、担い手の育成や、改植に取り組む生産者の増加を図り、産地再生に取り組んでいきます。

## (5) 事業一覧

推進交付金活用事業 (千円)

	事業名 (担当課)	事業概要・実績	交付金対象 事業費 (うち交付金)
1	次世代農業推進事業 (農林業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進的な農業技術の導入など、次世代の農業を見据えた意欲的な取組を支援</li> <li>・ 条件不利農地の省力化実証</li> <li>・ 加工品の試作・開発 (6次産業化)</li> </ul>	9,856 (4,928)
2	有害獣対策事業 (捕獲体制の強化) (農林業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害防止対策を実施するため、アドバイザーによる指導、講習会等を開催</li> <li>・ 定例会議12回、イノシシ講習会3回、集落環境診断4回、情報交換会3回、サル追い払い講習会1回、サル集落環境診断6回</li> </ul>	2,772 (1,386)
3	「いちほら梨」産地再生事業 (農林業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大苗を試験圃場に定植し、果樹柵・多目的防災網、灌水設備等の施設整備を完了</li> <li>・ 栽培・加工講習会を実施</li> </ul>	3,332 (1,666)

### 3 市原市の暮らしを彩る地域産業創生・人材育成プロジェクト (産業支援センターによる中小企業支援と起業・創業支援)

#### (1) 計画概要

市内における中小企業の経営基盤強化と起業・創業の促進に向け、資金調達、販路開拓や技術革新、人材の確保や育成などの面から総合的な支援策を講じます。

あわせて、女性や若者などの雇用機会の拡大や、長期雇用に資する人材育成について、産官学労金など多様な地域主体の連携により推進します。

#### (2) 実施状況

- ◆ 産業支援センターについては、市原商工会議所や NPO テクノサポートなどの関係団体との協議・調整により、商工会議所内に設置しました。あわせて、市の中小企業コーディネーターによる相談業務を同センターに集約しました。
- ◆ 平成 29 年 4 月 19 日に同センターをオープンさせ、中小企業や創業希望者等からの相談にワンストップで対応しています。
- ◆ 創業等促進支援事業などのプロジェクト事業についても、スケジュールどおり実施しました。

#### (3) 成果検証

##### ① KPI (重要業績評価指標)

ア 産業支援センターへの相談件数 (件)

年度	2015 基準値	2016	2017	2018	累計
目標値		0	150	200	350
実績値 (累計)	0	0 (0)	207 (207)		207
評価		—	◎		

目標値及び実績値は各年度における対前年度増減数を示しています (以下同じ)。

◎=目標値以上、○=目標値の概ね 8 割以上、△=その他

イ 支援を受けて起業した創業者数（人）

年度	2015 基準値	2016	2017	2018	累計
目標値		5	5	5	15
実績値 (累計)	0	39 (39)	31 (70)		70
評価		◎	◎		

ウ 資格取得講座の受講者数（人）

年度	2015 基準値	2016	2017	2018	累計
目標値		50	50	50	150
実績値 (累計)	0	52 (52)	60 (112)		112
評価		◎	◎		

② 検証

- ◆ 産業支援センターへの相談件数については、新規相談件数が目標を大きく上回る結果でした。専門家派遣についても、見込みを上回るニーズがありました。
- ◆ 支援を受けて起業した創業者数については、前年度の増加数と比較するとやや減少しているものの、当初の目標値を大きく上回ることができました。
- ◆ 資格取得講座の受講者数については、簿記講習（2級・3級）と介護職員初任者研修を実施し、目標を上回ることができました。

(4) 今後の方向性

- ◆ 専門家派遣については見込みを上回るニーズがあったことから、事業者がより相談しやすい体制を構築していきます。
- ◆ 創業スクール、創業セミナーは定員を下回ったことから、周知方法を改善していきます。

- ◆ 女性や若者などの雇用機会拡大と長期雇用に資する人材育成を推進することにより、「しごとづくり」「ひとづくり」を進めます。

## (5) 事業一覧

推進交付金活用事業（千円）

	事業名 (担当課)	事業概要・実績	交付金対象 事業費 (うち交付金)
1	産業支援センター 創設事業 (商工業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業や創業者、創業を検討している人を対象とした経営支援、労務・雇用相談等のワンストップ支援や各種情報提供、ものづくり人材育成等の拠点として、「市原市産業支援センター」を創設し運営</li> <li>・ 相談件数 207 件</li> </ul>	7,171 (3,586)
2	創業等促進支援事業 (商工業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業予定者等に対し、国・県・市・関係機関等の支援制度の周知を図ることを目的にした「市原市創業ガイドブック」を更新</li> <li>・ 創業を検討している方に対して、創業に係る基本的な知識の習得を目的とした「創業セミナー」を実施</li> </ul>	400 (200)
3	中小企業基盤強化 連携促進事業（中 小企業人材育成支 援事業を含む） (商工業振興課)	<p>(1) 中小企業人材育成支援事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修機会が不足しがちな中小企業を対象に、訪問相談等を通して各企業に応じた研修計画の作成、講師の派遣、その後のフォローアップまでを行う研修を実施 支援件数 10 社</li> </ul> <p>(2) 中小企業基盤強化連携促進事業補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品の品質化、生産の効率化や低コスト化につながる等の設備投資を行った中小製造業者に対して補助金を交付 交付件数 4 件</li> </ul>	14,211 (7,105)

	事業名 (担当課)	事業概要・実績	交付金対象 事業費 (うち交付金)
4	人づくり職業能力 開発支援事業 (商工業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性や若者などの資格取得や就労を支援し、雇用拡大を推進</li> <li>・ 労働相談件数：25件、介護職員初任者研修参加者：14人</li> <li>・ 簿記講習参加者：46人、個別就労相談件数：93件</li> <li>・ 中小企業新入社員講習参加者：43人</li> <li>・ 再就職支援セミナー参加者：86人</li> </ul>	2,678 (1,339)
5	JR3 駅周辺商業活 性化支援事業 (商工業振興課)	<p>(1) 店舗診断、モデル店舗育成及び助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家による店舗診断の実施 2店舗</li> </ul> <p>(2) JR3 駅周辺活性化ネットワーク強化助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 五井駅前活性化プロジェクト実行委員会が開催したバルへの助成 15店舗参加</li> <li>・ 八幡宿駅周辺にて実施した歳末セールお楽しみスピードくじへの助成 20店舗参加</li> </ul> <p>(3) トライアル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姉ヶ崎駅周辺の活性化を目的として、「あねがさき駅前マルシェ」を計7回実施</li> </ul> <p>(4) 空き店舗調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗の利活用に向け、JR3 駅周辺の空き店舗調査を実施するとともに、活用方法を検証</li> <li>・ 空き店舗率 五井地区 15%、姉崎地区 17%、八幡地区 18%</li> </ul>	3,000 (1,500)
6	ものづくり人材育 成事業 (商工業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国有数の製造業の拠点である臨海工業地帯を有する本市産業の特徴を周知し、臨海部工業への認識を深めるとともに、将来的には一人でも多くの地元就職へとつなげるため、教育課程に工業の授業がある小学5年生を対象とした産業教育パンフレットを配布</li> <li>・ 配布枚数 2,750枚</li> </ul>	216 (108)

	事業名 (担当課)	事業概要・実績	交付金対象 事業費 (うち交付金)
7	「知の情報拠点」 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業者等へのビジネス支援として、中央図書館で5種類のオンラインデータベースを平成28年度から導入</li> <li>・ データベース利用件数 278件</li> </ul> <p>【オンラインデータベースの種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①医中誌 Web『医学中央雑誌』</li> <li>②日経BP 記事検索サービス公共図書館版</li> <li>③Web OYA-bunko 公立図書館版</li> <li>④ルーラル電子図書館</li> <li>⑤ELNET (イーエルネット)</li> </ul>	1,216 (608)